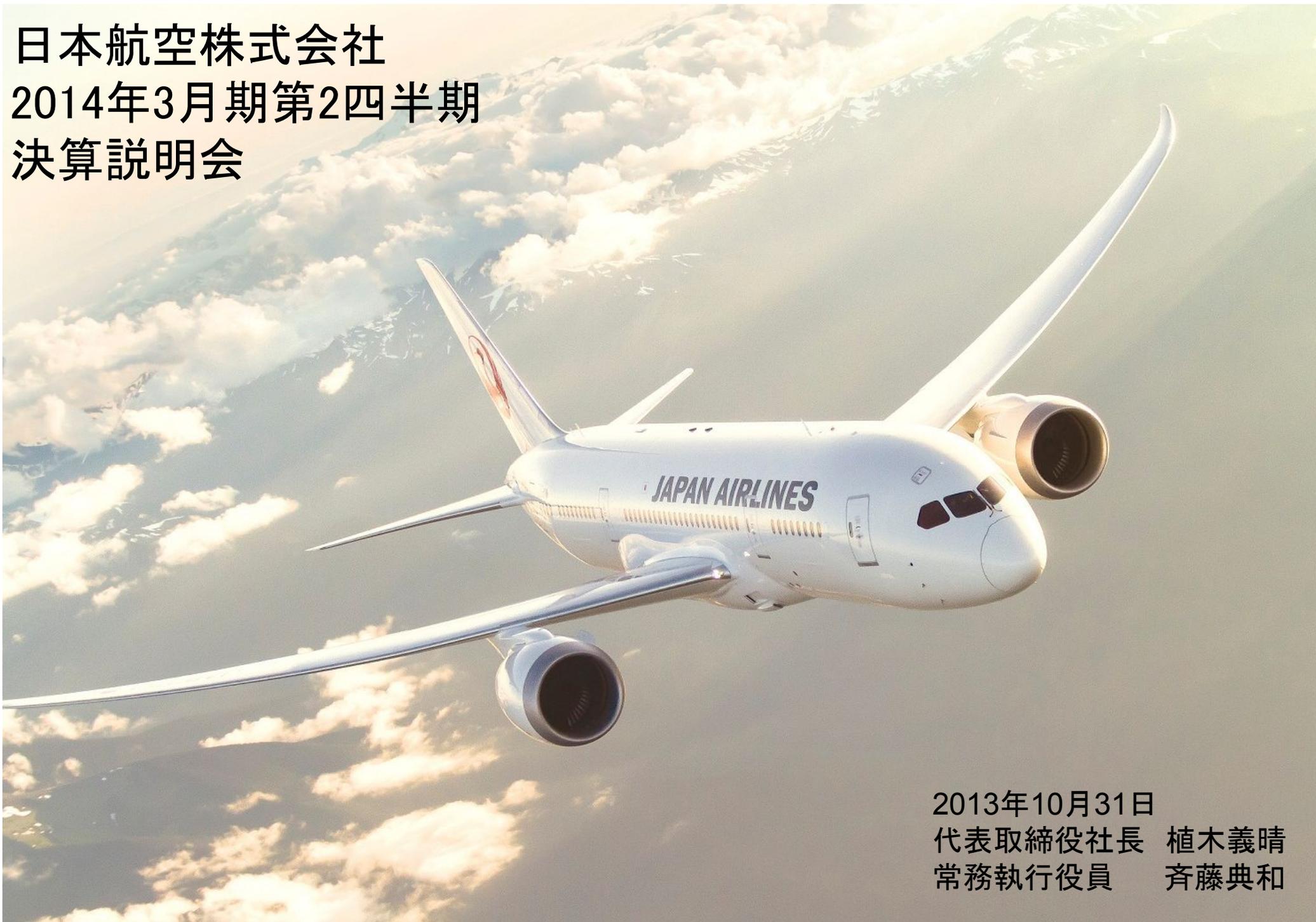


日本航空株式会社
2014年3月期第2四半期
決算説明会



2013年10月31日
代表取締役社長 植木義晴
常務執行役員 齊藤典和

 **2014年3月期第2四半期 業績概要**

P.2

 **2014年3月期業績予想の修正について**

P.3

 **中期経営計画の進捗について**

P.4

 **2014年3月期第2四半期 業績詳細**

P.6

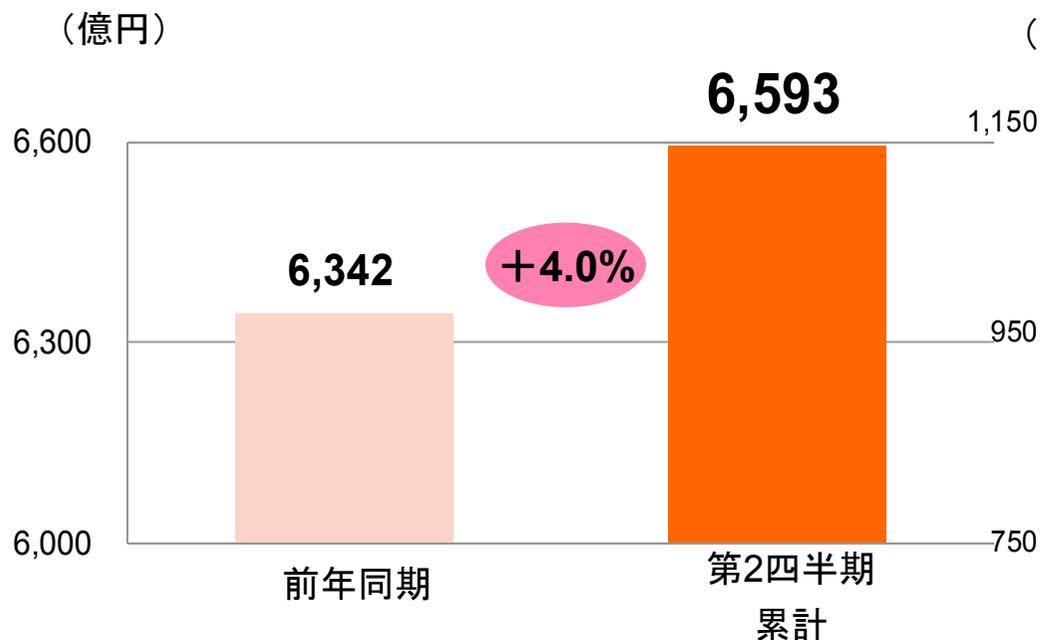
 **参考資料**

2014年3月期第2四半期 業績概要

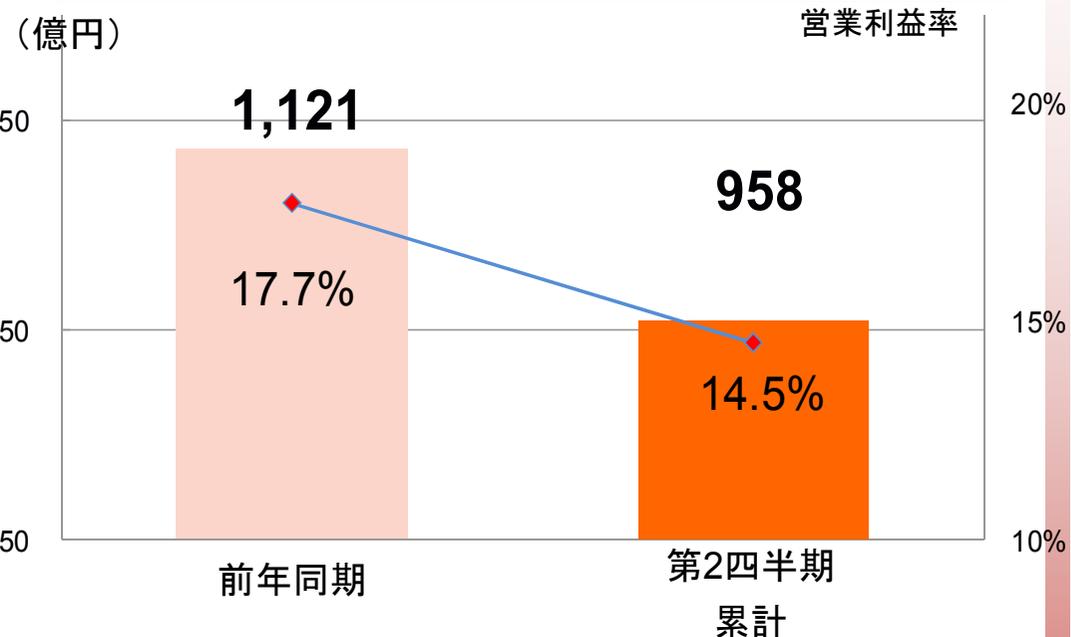


JAPAN AIRLINES

営業収益



営業利益



為替レート

	前年同期	第2四半期累計	前年同期比
為替(円/USD)	80.3	98.5	+22.7%

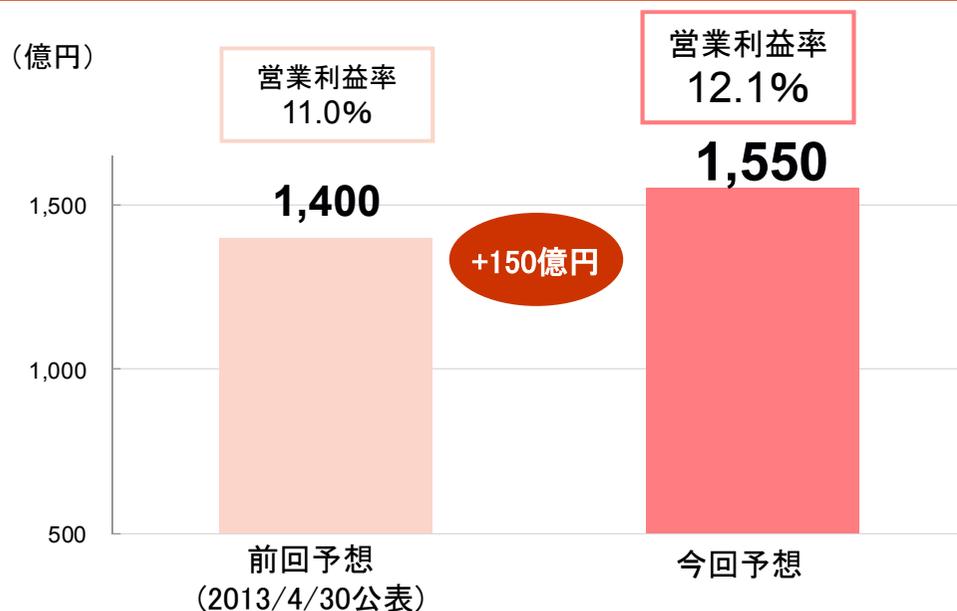
- ✓ 為替が前年比で大幅な円安となったことで減益となったが、営業利益は958億円を確保
- ✓ 営業利益率は14.5%となり、目標とする営業利益率水準(10%以上)にむけ進捗

2014年3月期通期業績予想の修正



JAPAN AIRLINES

営業利益の上方修正



- ✓ 第2四半期までの実績及び燃油・為替等市況変化を勘案し、通期業績予想を修正。
- ✓ 営業利益1,550億円 営業利益率12.1%
- ✓ 厳しい収益環境においても更なる利益極大化をめざす

燃油・為替前提	FY12実績	FY13今回予想	前回予想 (2013/4/30公表)
シンガポールケロシン (USD/bbl)	127.1	119.8 (下期120.0)	127
為替(円/USD)	82.4	99.3 (下期100.0)	95

配当見直しについて

- ✓ 「2014年3月期の配当性向は連結当期純利益の20%程度」

今後の資本政策

投資

- 将来における企業成長
- 経営環境の変化に対応

内部留保

- イベントリスク等への備え

株主還元

- 強固な財務基盤を踏まえ、積極的に検討

商品・サービスの強化

国際線



- ✓ 767-300ER型機全クラスの客室仕様を一新し、客室居住性・機能性を大きく進化
- ✓ 2013年12月～成田=バンクーバー線にて運航開始
- ✓ 長距離東南アジア線、ホノルル線等へ導入予定

*SKY SUITE767 ビジネスクラスシート



- ✓ 2013年度グッドデザイン賞を受賞
- ✓ 本邦航空会社初となるSKYTRAX社による「ベスト・ビジネスクラス・エアラインシート」賞を受賞



運航路線	成田=ロンドン、パリ、ニューヨーク
導入予定	2013年11月～ロサンゼルス線(毎日運航) 2014年1月～成田=シカゴ線

路線・ネットワークの拡充



×



×



JAPAN AIRLINES

- ✓ 日本=欧州線共同事業にフィンエアーを加え路線ネットワーク・商品サービス品質などを飛躍的に高め、お客さまの利便性向上をめざす

国内線

Welcome! New Sky



- ✓ 国内線 新座席・機内インテリアのリニューアル
 - 普通席の足元スペースを最大5cm拡大(写真)
 - クラスJ/普通席とも上質感のあるレザー仕様に
 - 機内照明のLED化
- ✓ 機内インターネットの導入

*普通席シート

	就航時期	対象機材
新座席・機内インテリア	2014年5月(予定)	国内線用 777-200/300型機、767型機、737-800型機
機内インターネット	2014年夏(予定)	合計:77機(予定)

顧客満足No.1に向けて

- ✓ 2013年度JCSI(*)において国際線の再利用意向(ロイヤルティ)1位
- ✓ 国内線においても他者推奨意向率が2位となり、顧客満足No.1にむけ確実に進捗

(*)JCSI:公益財団法人 日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が公表する日本版顧客満足度指数

2013年度	他者推奨意向	再利用意向
国際線	2位(2位)	1位(3位)
国内線	2位(3位)	6位(6位) ()内は前年度順位

中期経営計画で掲げる目標達成に向け順調に進捗

エアバス社製A350型機の導入について

A350型機:

- 中長距離路線用の更新機材として導入を決定
- 高い安全性能、客室快適性を有し、燃費改善による優れた経済性と環境性能

2019年~:

- 運航開始は2019年を目途に準備をし、6年程度で更新



発注状況	確定	オプション	計	保有機材数	2013/9/30		A350-900	A350-1000	777-200ER	777-300ER	787-8
A350-900	18機	-	-	777-200	15機	全長	66.8m	73.8m	63.7m	73.9m	56.7m
				777-200ER	11機	標準座席数	314席	350席	314席	386席	210席~ 250席
A350-1000	13機			777-300	7機	航続距離	15,000km	15,600km	13,900km	14,490km	14,200km~ 15,200km
				777-300ER	13機	エンジン	ロールス・ロイス社製 トレントXWB		GE社製GE90		GE社製GEnx
計	31機	25機	最大 56機	計	46機						

(出所) AIRBUS, BOEING各社ウェブサイト、当社資料

第2四半期業績 詳細



常務執行役員 齊藤典和

連結経営成績



JAPAN AIRLINES

2014年3月期 第2四半期 連結経営成績

(単位:億円)	前年同期	第2四半期 累計	前年 同期比	第2四半期	前年同期比
営業収益	6,342	6,593	+4.0%	3,651	+5.1%
航空運送連結	5,716	5,890	+3.0%	3,261	+4.3%
営業費用	5,220	5,634	+7.9%	2,914	+9.3%
航空運送連結	4,686	5,029	+7.3%	2,584	+8.7%
営業利益	1,121	958	▲14.6%	737	▲8.7%
航空運送連結	1,030	861	▲16.4%	676	▲9.5%
営業利益率 (%)	17.7%	14.5%	▲3.2pt	20.2%	▲3.0pt
経常利益	1,110	901	▲18.8%	704	▲12.3%
四半期純利益	997	819	▲17.8%	636	▲12.6%
ASK(百万席キ口)	40,795	42,319	+3.7%	21,614	+3.7%
RPK(百万人キ口)	28,541	29,607	+3.7%	15,896	+4.9%
EBITDAマージン (%) ⁽²⁾	24.1%	20.7%	▲3.4pt	25.9%	▲3.3pt
EBITDARマージン (%) ⁽³⁾	26.6%	23.1%	▲3.5pt	28.1%	▲3.4pt
ユニットコスト(円) ⁽⁴⁾	8.4	8.5	+0.1	8.6	+0.2
燃油費含む	11.5	11.9	+0.4	12.0	+0.6

- ✓ 営業収益は6,593億円となり前年比+4.0%
- ✓ 営業利益は958億円となり前年比▲14.6%
- ✓ 売上高営業利益率は14.5%

注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出

2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費

3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料

4. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費を除く)÷ASK

※航空運送連結:今年度より対象範囲を航空運送6社から、航空運送関連事業会社26社を加え32社とした 本頁の前年数値も同範囲にて表記

営業利益増減の推移



JAPAN AIRLINES

2014年3月期 第2四半期

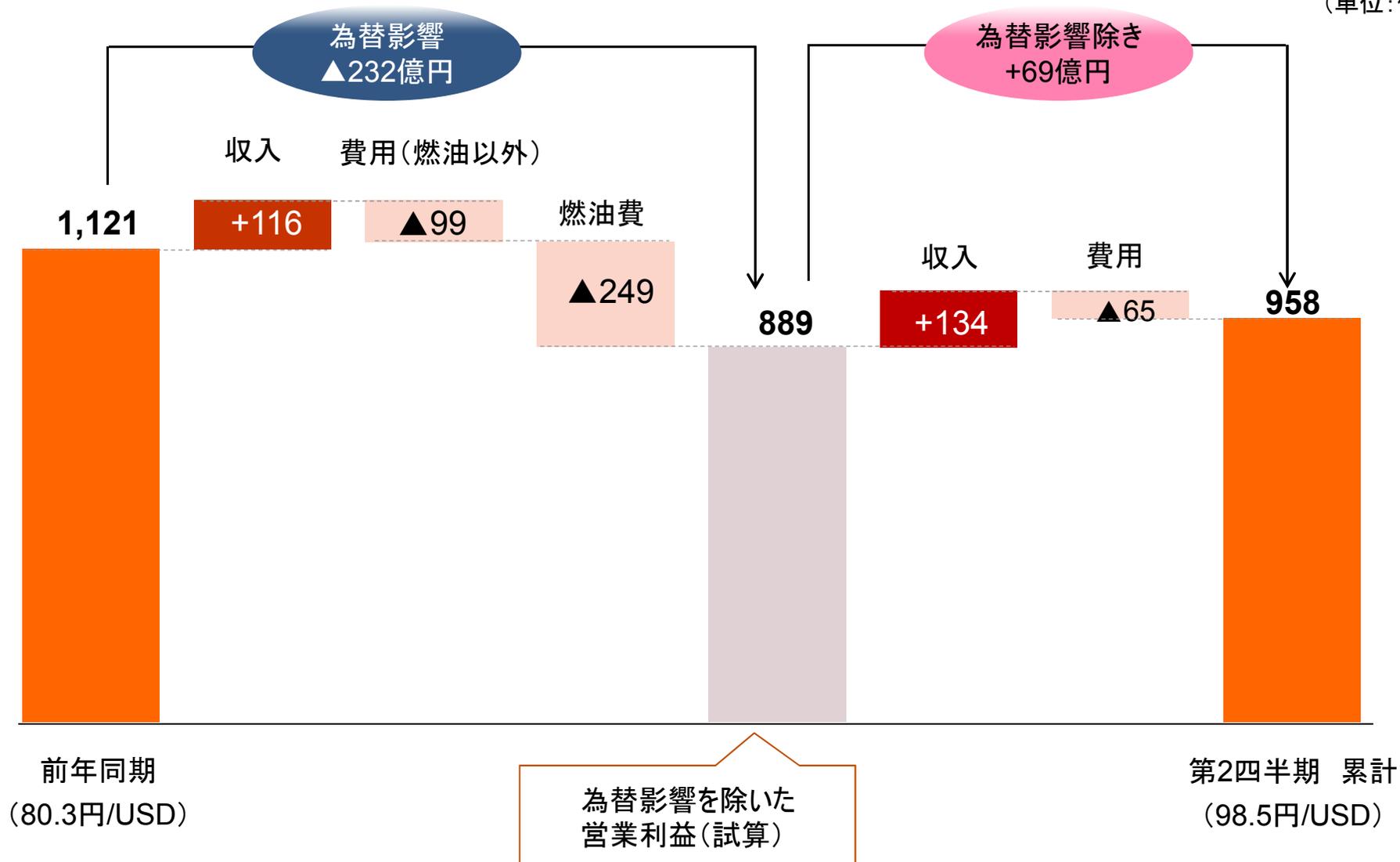
ASK前年同期比: +3.7%
 RPK前年同期比: +3.7%

(単位: 億円)



営業利益への為替影響 詳細

(単位: 億円)



国際旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

国際旅客事業の状況

	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
旅客収入 (億円)	2,103	2,222	+5.7%	1,232	+7.8%
ASK (百万席キ口)	22,127	23,089	+4.4%	11,829	+4.9%
RPK (百万人キ口)	16,852	17,608	+4.5%	9,427	+6.0%
有償旅客数 (千人)	3,778	3,847	+1.8%	2,066	+4.6%
座席利用率 (%)	76.2	76.3	+0.1pt	79.7	+0.8pt
イールド ⁽²⁾ (円)	12.5	12.6	+1.1%	13.1	+1.6%
ユニットレベニュー ⁽³⁾ (円)	9.5	9.6	+1.2%	10.4	+2.7%
単価 ⁽⁴⁾ (円)	55,657	57,751	+3.8%	59,656	+3.0%

- ✓ 旅客収入は2,222億円となり前年比+5.7%の増収
- ✓ 座席利用率は76.3%に向上
- ✓ 単価が前年比+3.8%となり増収に寄与

- 注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

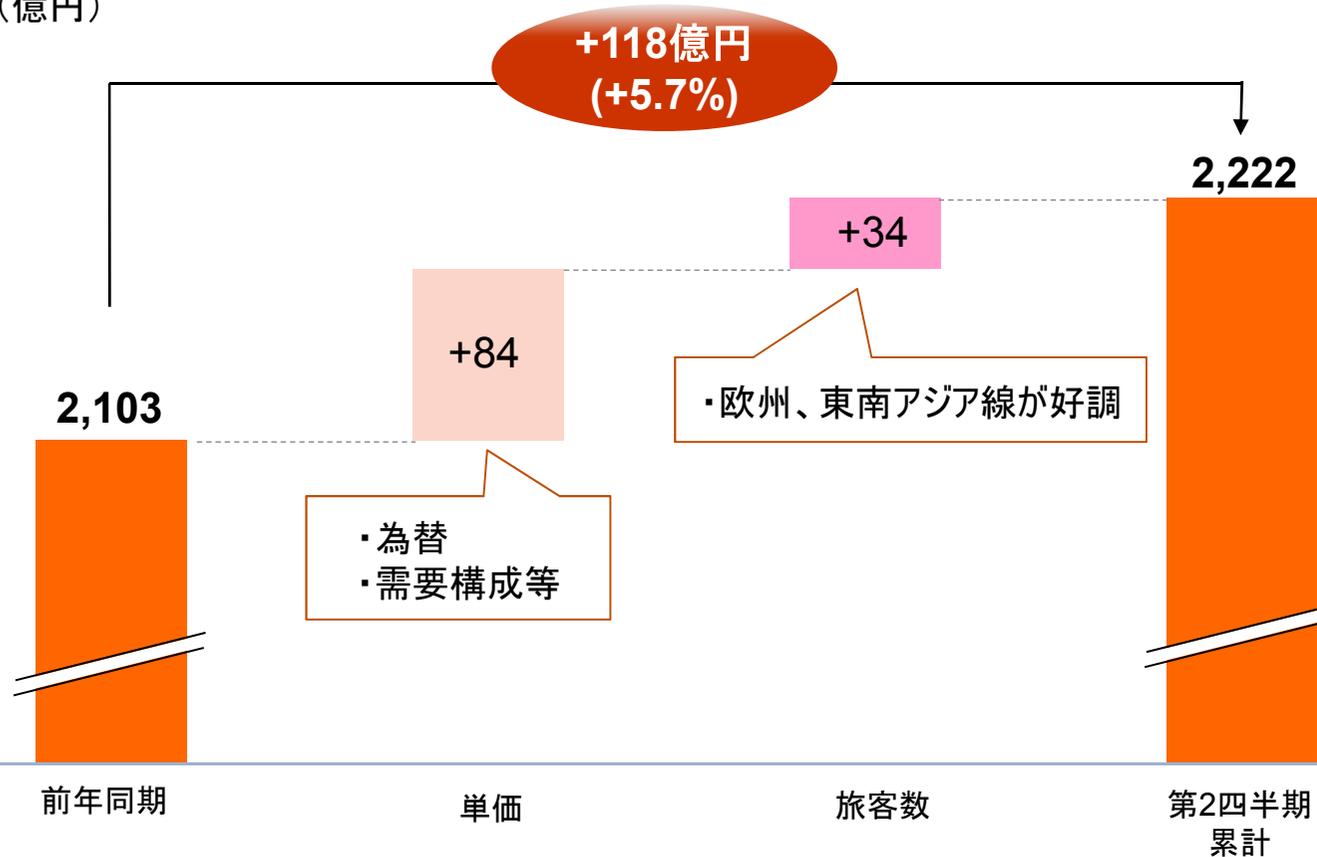
国際旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2014年3月期 第2四半期

(億円)



✓ 欧州、東南アジア線好調

利用率

欧州線 79.0%(前年比+2.6%)

東南アジア線 75.6%(+3.7%)

✓ SKY SUITE 777導入拡大

導入路線拡大(成田=ニューヨーク、パリ線)

利用率、イールド向上に寄与

✓ ボーイング787運航再開

商品競争力強化/運航効率向上

✓ 成田=ヘルシンキ線開設

日本=欧州間の利便性向上に寄与

国内旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

国内旅客事業の状況

	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
旅客収入 (億円)	2,504	2,517	+0.5%	1,429	+0.5%
ASK (百万席キロ)	18,668	19,229	+3.0%	9,784	+2.2%
RPK (百万人キロ)	11,689	11,999	+2.7%	6,468	+3.3%
有償旅客数 (千人)	15,226	15,784	+3.7%	8,423	+3.8%
座席利用率 (%)	62.6	62.4	▲0.2pt	66.1	+0.7pt
イールド ⁽²⁾ (円)	21.4	21.0	▲2.1%	22.1	▲2.7%
ユニットレベニュー ⁽³⁾ (円)	13.4	13.1	▲2.4%	14.6	▲1.7%
単価 ⁽⁴⁾ (円)	16,449	15,947	▲3.1%	16,964	▲3.2%

- ✓ 旅客収入は2,517億円となり前年比+0.5%の増収
- ✓ 単価は競争環境の激化及び団体旅客数の伸びが相対的に高かったことから前年比▲3.1%
- ✓ 旅客数が前年比+3.7%となり増収に寄与

- 注: 1. 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

国内旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2014年3月期 第2四半期

(億円)

+12億円
(+0.5%)

2,504

▲85

+97

2,517

・需要構成等

・供給座席数増加
・その他施策等

前年同期

単価

旅客数

第2四半期
累計

✓ 団体旅客需要が好調

- ・ 東京ディズニーリゾート®30周年を記念したタイアップ企画を展開
- ・ 出雲大社の遷宮に伴う山陰方面需要好調

主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

営業費用内訳

(単位:億円)	前年同期	第2四半期 累計	前年差	前年 同期比	第2四半期	前年差
燃油費	1,241	1,411	+169	+13.7%	728	+103
運航施設利用費	379	407	+28	+7.4%	207	+13
整備費	148	206	+57	+38.9%	110	+30
航空販売手数料	102	111	+9	+9.4%	57	+5
航空機材償却費	302	305	+2	+0.9%	158	+6
航空機材賃借料	157	157	▲0	▲0.0%	80	+0
人件費	1,129	1,170	+40	+3.6%	586	+21
その他	1,758	1,863	+105	+6.0%	986	+65
営業費用計	5,220	5,634	+414	+7.9%	2,914	+247

- ✓ 供給・円安により燃油費が169億円増加
- ✓ 客室改修実施による外注費増・円安により整備費が57億円増加
- ✓ 賞与水準の上昇や為替影響等により、人件費が40億円増加
- ✓ 円安による影響は348億円の営業費用増

ASK前年比: +3.7%

注: 第2四半期(7-9月)の実績は第2四半期累計実績(4-9月)から第1四半期(4-6月)の実績を差し引いて算出

第2四半期末 連結財務状況

(単位: 億円)	前年度末 2013/3/31	第2四半期末 2013/9/30	前年度末差
総資産	12,166	12,614	+448
現金及び預金	3,479	3,718	+238
有利子負債残高 ⁽¹⁾	1,601	1,373	▲227
オフバランス 未経過リース料	2,071	1,932	▲138
自己資本	5,650	6,176	526
自己資本比率 (%)	46.4%	49.0%	+2.5pt
D/Eレシオ(倍) ⁽²⁾	0.3x	0.2x	▲0.1x

✓ 有利子負債残高は返済等により227億円減少し1,373億円

✓ 自己資本比率は四半期純利益の計上等により2.5pt増加し49.0%

注: 1. 割賦未払金を含む。

2. D/Eレシオ=(オンバランス有利子負債)÷(自己資本)

2014年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年度実績	FY13 今回予想	前回予想 (2013/4/30公表)	予想増減額		FY13 今回予想	前回予想 (2013/4/30公表)
営業収益	12,388	12,860	12,720	+140	ASK* 国際線	103.3	103.9
					国内線	102.5	104.5
営業費用	10,435	11,310	11,320	▲10	RPK* 国際線	104.3	104.5
					国内線	102.8	101.5
営業利益	1,952	1,550	1,400	+150	*前年度実績を100として		
経常利益	1,858	1,440	1,270	+170	シンガポールケロシン (USD/BBL)	119.8 (下期120.0)	127
当期純利益	1,716	1,280	1,180	+100	為替(円/USD)	99.3 (下期100.0)	95.0

(単位:億円)		FY13 今回予想	前回予想 (2013/4/30公表)
営業収益	国際旅客収入	4,280	4,260
	国内旅客収入	4,870	4,920
	貨物郵便収入	890	840
	その他の収入	2,820	2,700
営業費用	燃油費	2,810	2,900
	燃油費以外	8,500	8,420
ユニットコスト(円)		8.7	8.6

- ✓ 営業収益、営業利益ともに上方修正
- ✓ 燃油、為替レートの見直し
- ✓ 最新の路線便数計画、需要動向等を反映



Intentionally Left Blank



-  **2014年3月期第2四半期 業績概要**
-  **2014年3月期業績予想の修正について**
-  **中期経営計画の進捗について**
-  **2014年3月期第2四半期 業績詳細**
-  **参考資料**

《参考》2014年3月期業績予想(航空運送事業)



JAPAN AIRLINES

前年同期比% (座席利用率を除く)	国際旅客			国内旅客		
	上期 (実績)	下期 (予想)	2013年度 (予想)	上期 (実績)	下期 (予想)	2013年度 (予想)
ASK	+4.4%	+2.2%	+3.3%	+3.0%	+1.9%	+2.5%
RPK	+4.5%	+4.2%	+4.3%	+2.7%	+3.0%	+2.8%
有償旅客数	+1.8%	+3.2%	+2.5%	+3.7%	+3.6%	+3.6%
座席利用率 (%)	76.3	77.4	76.8	62.4	64.4	63.4
イールド	+1.1%	+0.7%	+0.9%	▲2.1%	▲2.3%	▲2.2%
ユニットレベニュー	+1.2%	+2.7%	+2.0%	▲2.4%	▲1.2%	▲1.9%
単価	+3.8%	+1.7%	+2.7%	▲3.1%	▲2.8%	▲3.0%

《参考》キャッシュフローの状況(実績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期差
税金等調整前四半期純利益	1,106	908	▲197
減価償却費	407	405	▲1
その他	16	68	+52
営業キャッシュフロー合計	1,529	1,383	▲146
設備投資額 ⁽¹⁾	▲458	▲562	▲104
その他	17	▲19	▲37
投資キャッシュフロー合計⁽²⁾	▲440	▲582	▲141
フリーキャッシュフロー ⁽³⁾	1,089	801	▲288
有利子負債返済 ⁽⁴⁾	▲234	▲229	+4
その他	▲80	▲341	▲260
財務キャッシュフロー	▲314	▲570	▲256
キャッシュフロー合計⁽⁵⁾	774	230	▲544
EBITDA	1,529	1,364	▲165
EBITDAR	1,687	1,521	▲165

- 注: 1.固定資産の取得による支出
 2.定期預金の入出金を除く
 3.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー
 4.長期借入金の返済+リース債務の返済
 5.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー

《参考》2014年3月期業績予想(貸借対照表/キャッシュフロー)



JAPAN AIRLINES

連結貸借対照表

(億円)	FY12末実績	FY13末今回予想	FY12実績差
総資産	12,166	12,890	+723
有利子負債残高	1,601	1,370	▲231
自己資本	5,650	6,460	+810
自己資本比率(%)	46.4%	50.1%	+3.7pt
ROA(%) ⁽¹⁾	16.9%	12.4%	▲4.5pt

連結キャッシュフロー

(億円)	FY12実績	FY13今回予想	FY12実績差
営業キャッシュフロー	2,648	2,380	▲268
投資キャッシュフロー ⁽²⁾	▲1,290	▲1,350	▲59
フリーキャッシュフロー ⁽²⁾	1,358	1,030	▲328
財務キャッシュフロー	▲606	▲540	+66
EBITDA	2,762	2,360	▲402
EBITDAR	3,071	2,680	▲391

注: 1. ROA = (営業利益)/(期首総資産額+期末総資産額)/2

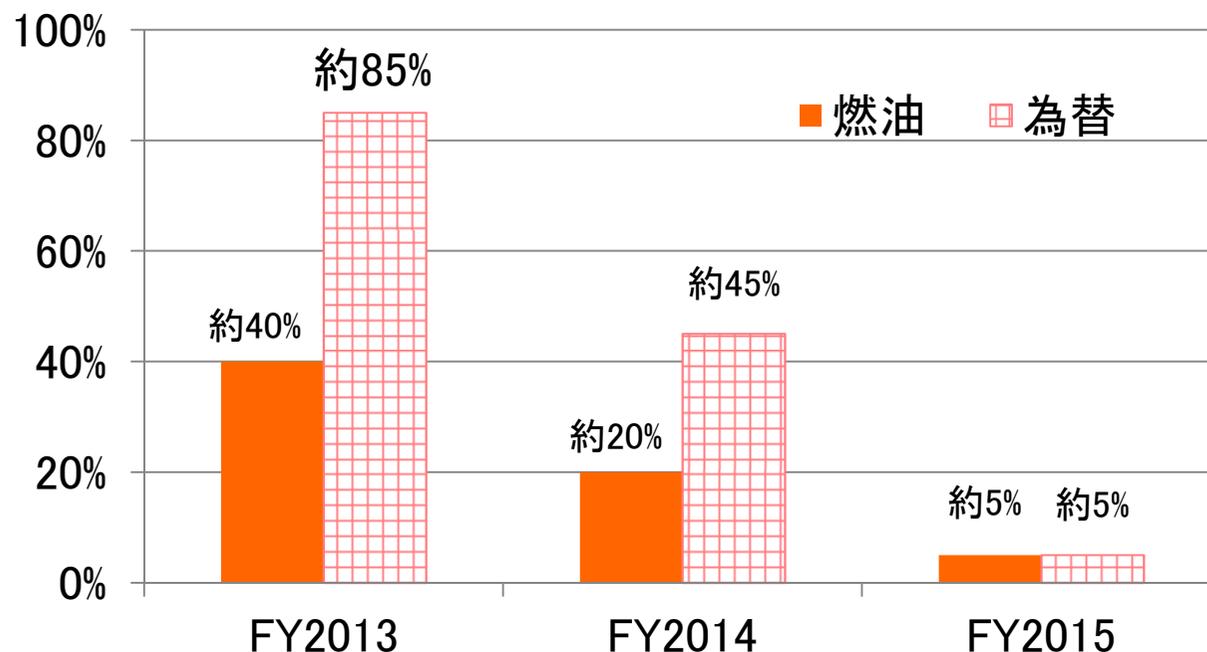
2. 定期預金の入出金を除く

《参考》燃油・為替の影響度



JAPAN AIRLINES

燃油費に対する年度別ヘッジ概況 (2013年9月末時点)



燃油費への感応度(ヘッジなし)

燃油費への影響(年間)

原油 (1USD/BBLの変動)	約20億円
為替 (1円/USDの変動)	約25億円

燃油・為替前提

	2013年度 見通し	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比
シンガポールケロシン (USD/bbl)	127	125.0	119.6	▲4.3%
為替 (円/USD)	95	80.3	98.5	+22.7%

《参考》国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

旅客収入(対国際線全体比率)

(単位:%)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期差	第2四半期	前年同期差
太平洋線	34.0%	34.5%	+0.5pt	35.5%	+0.0pt
欧州線	19.5%	20.0%	+0.5pt	20.5%	+0.5pt
アジア・オセアニア	34.5%	35.0%	+0.5pt	33.0%	▲0.5pt
中国線	12.0%	10.5%	▲1.5pt	11.0%	▲0.0pt

ASK

(単位:百万席キ口)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
太平洋線	7,860	8,456	+7.6%	4,448	+9.8%
欧州線	4,205	4,149	▲1.3%	2,185	+1.6%
アジア・オセアニア	8,387	8,718	+3.9%	4,294	+1.5%
中国線	1,672	1,765	+5.5%	900	+7.2%

RPK

(単位:百万人キ口)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
太平洋線	6,433	6,706	+4.2%	3,593	+5.3%
欧州線	3,215	3,279	+2.0%	1,801	+6.3%
アジア・オセアニア	6,033	6,511	+7.9%	3,386	+6.5%
中国線	1,170	1,111	▲5.0%	645	+6.6%

有償旅客数

(単位:千人)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期比	第2四半期	前年同期比
太平洋線	843	870	+3.2%	469	+5.2%
欧州線	341	353	+3.8%	196	+9.2%
アジア・オセアニア	1,970	2,031	+3.1%	1,055	+3.0%
中国線	623	591	▲5.1%	344	+6.5%

Load Factor

(単位:%)	前年同期	第2四半期 累計	前年同期差	第2四半期	前年同期差
太平洋線	81.8%	79.3%	▲2.5pt	80.8%	▲3.4pt
欧州線	76.5%	79.0%	+2.6pt	82.4%	+3.6pt
アジア・オセアニア	71.9%	74.7%	+2.7pt	78.9%	+3.7pt
中国線	69.9%	62.9%	▲7.0pt	71.7%	▲0.4pt

《参考》保有航空機一覽



JAPAN AIRLINES

		前年度末 2013/3/31			第2四半期末 2013/9/30			増減
		所有	リース	合計	所有	リース	合計	
大型機	Boeing 777-200	15	0	15	15	0	15	-
	Boeing 777-200ER	11	0	11	11	0	11	-
	Boeing 777-300	7	0	7	7	0	7	-
	Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	-
	大型機 小計	46	0	46	46	0	46	-
中型機	Boeing 787-8	7	0	7	11	0	11	+4
	Boeing 767-300	16	0	16	15	0	15	▲1
	Boeing 767-300ER	14	18	32	14	18	32	-
	中型機 小計	37	18	55	40	18	58	+3
小型機	MD90	2	0	2	0	0	0	▲2
	Boeing 737-400	14	2	16	12	2	14	▲2
	Boeing 737-800	18	31	49	19	31	50	+1
	小型機 小計	34	33	67	31	33	64	▲3
リージョナル機	Embraer 170	12	0	12	13	0	13	+1
	Bombardier CRJ200	9	0	9	9	0	9	-
	Bombardier D8-400	9	2	11	9	2	11	-
	SAAB340B	9	2	11	9	2	11	-
	Bombardier D8-300	1	0	1	1	0	1	-
	Bombardier D8-100	4	0	4	4	0	4	-
	リージョナル機 小計	44	4	48	45	4	49	-
合計	161	55	216	162	55	217	+1	

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

電話番号 03-5460-3068

免責事項



JAPAN AIRLINES

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。